

平成 29 年度千葉大学園芸学部 公開講座

次世代園芸産業を考える

企業的農園芸経営者，農園芸コンサルタント，流通・市場関係者，ワイン事業関係者等を講師として招き，法人化の必要性，求められる経営者としての資質，グローバル化を睨んだ経営展開方向，マーケティング戦略，労務管理，農産物輸出における課題，植物工場ビジネス，ワイン産業の現状と課題等について解説します。

農園芸経営者や農園芸関連産業関係者の方には，自身の経営発展のためのヒントや経営の企業化にともなって生じる課題を勉強する機会を，一般市民の方には農園芸産業の現状と経営者がどのような考えや方法で農産物の安定生産を行っているのかを知る機会を提供します。

開講場所

千葉大学園芸学部 E 棟 2 階合同講義室

〒271-8510 松戸市松戸 648(松戸駅から徒歩 15 分，タクシー5 分)

開講日時

平成 29 年 4 月 13 日～7 月 20 日

毎週木曜日 5 限(16:10-17:40) 毎回 1 時間半(全 14 回)

募集人員

20 名程度

募集期間

随時受け付け(予定人員に達し次第締め切ります)

受講手続

受講を希望される方は，以下の必要事項を記入のうえ，葉書，メールもしくは FAX により，以下までお申し込み下さい。

お申し込み先

〒271-8510 松戸市松戸 648 千葉大学園芸学部学務係

E-MAIL zag8712@office.chiba-u.jp

FAX 047-308-8720

必要事項

氏名，勤務先，勤務先電話番号，勤務先 FAX 番号，E メールアドレス

(自宅から申し込まれる方は自宅住所，電話(FAX)番号，E メールアドレスで構いません)

※途中からや興味のある講義だけ聞くことも可能です。その場合も講義資料準備の都合上，参加人数を把握する必要があります。1 回のみ参加であっても，その旨お知らせいただけますようお願いいたします。

受講料

無料です。

開講予定

第1回	4月13日	農産物の輸出入に関わる課題や農産物の安全性について(仮題) 佐藤 卓(米国大使館農務部農務スペシャリスト)
第2回	4月20日	花市場の現状と課題, 今後の方向性について 福永 哲也(豊明花き株式会社代表取締役社長)
第3回	4月27日	露地野菜産地における法人経営の現状と課題 -給料を払う側の論理、給料をもらう側の論理- 小松 真知子(有限会社小松園芸専務)
第4回	5月1日	-6次産業化から10次産業化へ- -花文化なくして、花産業なし- 武内 嘉一郎(株式会社グリーン武内代表取締役社長)
第5回	5月11日	企業的農園芸経営の現状と課題 -和郷園が目指すもの- 木内 博一(農事組合法人和郷園代表理事)
第6回	5月18日	日本型農園芸施設産業がSDGs(Sustainable Development Goals)を牽引する! 井上 昌夫(株式会社フレボファーム)
第7回	5月25日	農地所有適格法人HATAKEカンパニーの差別化戦略 木村 誠(株式会社 HATAKE カンパニー代表取締役社長)
第8回	6月1日	花卉および野菜苗産業の現状と将来方向性 篠原 雄一(株式会社ハルディン常務取締役)
第9回	6月8日	国内外のワイン産業の現状と課題, 将来方向性について 川俣 昌大(株式会社マンズワイン小諸ワイナリー工場長)
第10回	6月15日	日本農業に栽培コンサルタントは必要か? 麻生 英文(株式会社デルフィジャパン取締役)
第11回	6月22日	植物工場ビジネスの現状と課題, 将来性 嶋村 茂治(株式会社ハンモ代表取締役社長)
第12回	6月29日	農業の新しいカタチを創る ~農業を地域にとって価値ある産業にする 次世代農業経営とは~ 田中 進(株式会社サラダポウル代表取締役社長)
第13回	7月6日	花卉類生産・直売経営の現状と課題, 今後の方向性について 高橋 耕一(有限会社高橋植物園)
第14回	7月20日	農薬とは-農薬の安全性と適正使用について 草間 祐輔(住友化学園芸株式会社普及部)

※第4回(5月1日)のみ木曜日ではなく月曜日の開講となっておりますのでご注意ください。

講座内容に関するお問い合わせ先

千葉大学園芸学部 大川 克哉(園芸産業創発学プログラム担当)

E-MAIL ohkawak@faculty.chiba-u.jp